

《特集》
全国高等学校
総合体育大会

よまえばし

7月15日

昭和44年(1969年)

431号 発行・前橋市役所／編集・総務部秘書課／毎月1日・15日／昭和35年7月14日第3種郵便物認可(1部4円)



全^国高校総体本市を主会場に

8月1日から開催

全国高等学校総合体育大会の開催日も間近が迫りました。北は北海道、南は九州・沖縄まで、全国津々浦々から各県代表として群馬に集ってくる参加選手は約二万五千人。このほか、観戦者を含めると五万人をこえるという多くの人たちが、八月一日敷島公園県営陸上競技場で行なわれる総合開会式を皮切りに、本市に集ってきます。

この大会は、参加選手の数において「オリンピック」や「国体」をしのぐといわれています。こうした大きな大会が、本市で開かれるのは、はじめてのことです。全国の多数の人たちに前橋の姿を知ってもらう絶好の機会でもあります。

この大会の成功を期して、体育関係者はもとより、各方面の力つよい協力で、最後の準備がつづけられています。市民のみならずには、明るく美しいまちにして、全国の若人を迎えよう。の合い言葉のもとに、七つの運動の推進をおねがいしていますが、この「民泊」関係では、深いご理解ご協力をいただいで、開催日待っばかりとなっています。

しかし、なんといっても、本市を訪れた遠来の人たちに、「前橋は、ほんとうによかった」といわれるために、全市のみならずあけて、あなたがいこ協力をおねがいいたします。(写真は高校総体リハール 県下高校生五〇〇人による創作ダンス「いの詩」から)

祭典

強い意志と体力

次代をになう青少年をつくる

高校総体・その歩みと特色

クニ

○：限りなく向上しようとする若い高校生の意欲と、体力と気力の限界に挑戦しようとするきびしく強い若者の気魄とが、たからかに昇華される大会。全国高等学校総合体育大会。公正・同志・友情のスローガンのもと、次代をになう青少年に、自信と希望をあたえるという大きな意義をもつこの大会が、全国から二万五千人の若い選手たちを集めて、本市を中心に間もなく開かれようとしています。

○：この大会の競技種目は二十九。このうち、スキー、スケート、駅伝、ラグビー(四種目)は冬季種目。残りの種目は、千葉、栃木、神奈川の各県で開催されます。これは、二十五種目全部を一つの都県だけで引き受けるには、宿泊施設、競技施設など多くのむずかしさがあるため、一つの県を中心に近くの県が協力して開催する方法がとられているのです。

○：さて、この「全国高校総体」の歴史をひもといてみますと種目ごとの選手権大会はきわめて古く、庭球競技のように59回目を迎えるものもあります。この回数は学制改革のため消えていった全国中等学校大会、すなわち「イン

和42年度)は福井県を中心に石川、富山など8県、第六回大会(昭和43年度)は広島県を中心に開催されてきました。

○：さて、第七回にあたる群馬大会は、八月一日県営陸上競技場での総合開会式をかわりに県下いっせいに開催されることになっています。この群馬大会は、「明るい郷土の未来をつくる」ことをテーマとしています。テーマ・カラーには「黄緑」が決められました。これは自然のきびしさを乗り越えて生じる木々の若芽と、はかり知れない無限の成長を包蔵する

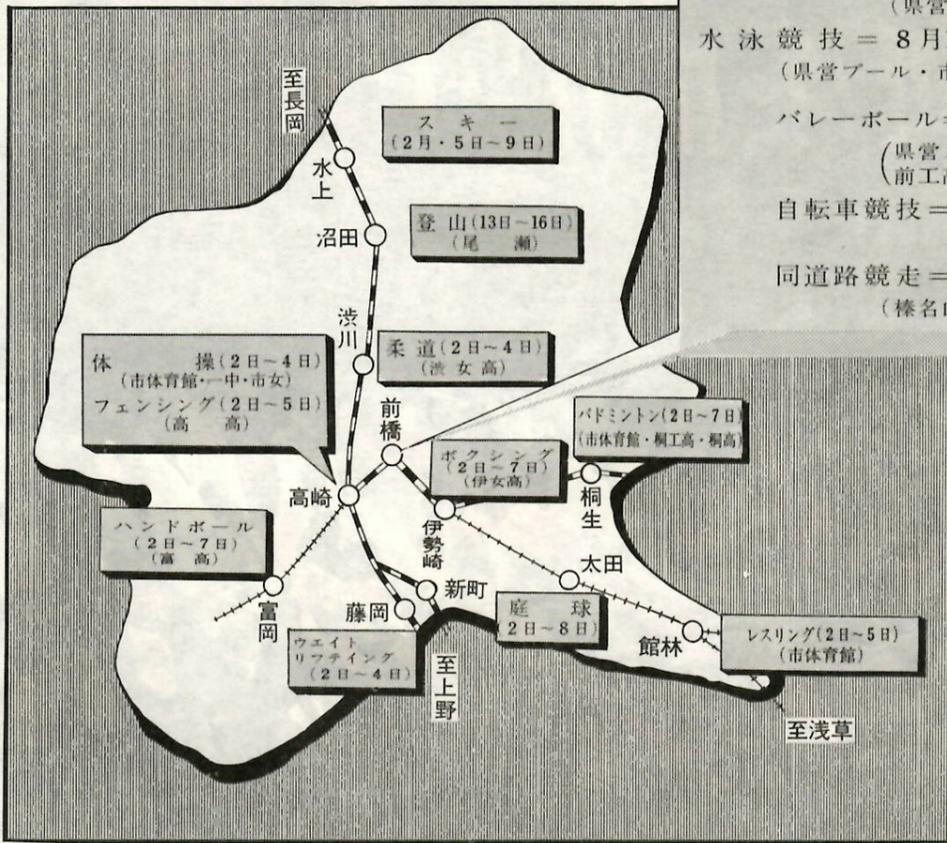


盛況だったリハール

5月15日 県営陸上競技場で

全国総体のリハールの意味をこめて全県下1万2千人の選手が参加して行なわれた。第4回群馬県高校総体は、万場の拍手のなかで成功裡に終了。本番を待つばかりとなりました。

競技会場・種目・期日



前橋市の開催日

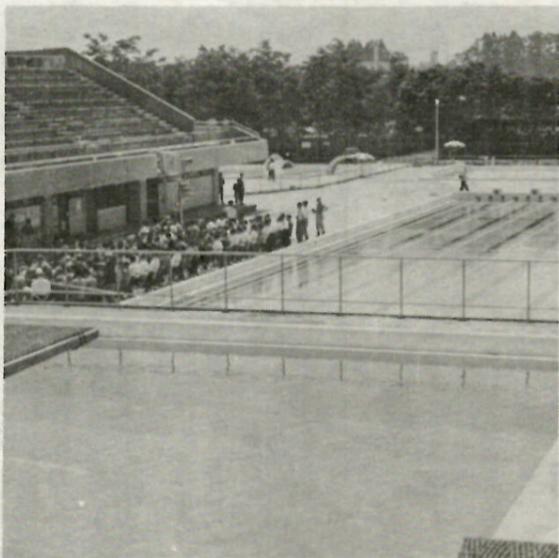
開会式 = 8月1日
 陸上競技 = 8月2日~5日
 (県営陸上競技場)
 水泳競技 = 8月16日~19日
 (県営プール・市民プール)

バレーボール = 8月2日~5日
 (県営スポーツセンター
 前工高・前商高体育館)
 自転車競技 = 8月4日~6日
 (前橋競輪場)
 同道路競走 = 8月3日
 (榛名山ろく1周約94km)

テレビ・ラジオで中継放送

NHKでは、高校総体の模様を、テレビ・ラジオを通じてみなさんに放送いたします。

放送は8月1日の総合開会式をはじめとし、2日からの陸上競技、3日の卓球、4日は体操・弓道、5日はバレーボール、6日はボクシング・ホッケー、7日はバドミントン・バスケット・相撲、8日はサッカー等となっています。放送時間は毎日2時間程度です。



水泳競技の主会場となる市民プール。



陸上競技の花形、100メートルのゴールイン(県大会から)。

総合開会式

8/1日

敷島総合運動場 陸上競技場

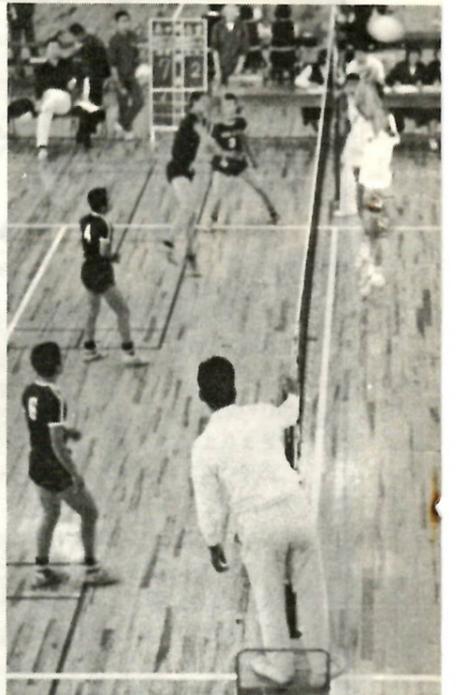
公正・闘志・友情のスローガンのもと

全国高校生2万5千人の

若い



〈高体連マーク〉



バレーボールは、男子・女子ともオリンピックでの日章旗種目。この伝統を受けつぐ選手が、の大会から数多く生まれることでしょう。

順 序	時 間	内 容
開 門	7:30	煙火の打上げといっしょに、陸上競技場の各入口を開き、観覧者の入場を開始します。
入 場 締 切	9:00	いっせいに改札口を閉じます。
選手団集合開始	9:00	選手団が集合します。
公 開 演 技 「いとこの詩」の技	9:15 9:30	県下高体連ダンス部 500人による創作ダンス「いとこの詩」がはじまります。美しい山野に緑の桑畑が開かれる私たちの郷土群馬は、生糸の国です。遠い昔から、くられ、つむがれてきた生糸は、汗と涙とほほえみのなかに、働く女の歴史をつくりいまなお全国一の生産をほこっています。この「いとこの詩」は生糸の、くられつむがれ、やがて光り輝く絹に織られてゆくさまを、主題として3部から構成されています。
吹奏楽団入場	9:40	吹奏楽団が入場します。誘導のバンドは前商・前東商・農大二高・桐商など9校、吹奏楽団は前高前工など17校と、自衛隊・県警などの各吹奏楽団で編成されています。演奏の曲目は、この大会のために群馬県吹奏楽連盟作曲の行進曲「上州路」です。
標 旗 入 場	9:55	標旗が入場します。誘導の鼓笛隊は本市の小学生33名。
開 会 通 告	10:00	開会のアナウンスがされます。ファンファーレがたからかに鳴りひびき、花火の音がグラウンドにこだまします。
選手団入場	10:01 10:40	全国から集ってきた2万人の選手・役員が入場します。グリーン色の芝生に、レンガ色のグラウンド、選手団の白一色に統一されたトレーニングシャツが印象的です。
開 会 宣 言	10:40	開会宣言。ファンファーレが「こだま」の曲を吹奏し、煙火が打ち上げられます。
国 旗 掲 揚	10:42	選手・観客起立し、全員の「君が代」斉唱のうちにメインポールに国旗が掲揚されます。
大会旗掲揚	10:42	「高体連の歌」合唱のうちに大会旗や、参加各県の旗が掲揚されます。風船5,000個が空に放たれいろいろをそえてくれます。
賜杯・優勝旗の返	10:43	前年度優勝校から、優勝賜杯・優勝旗が「得賞歌」演奏のうちに返還されます。
大会会長あいさつ・祝辞など	10:49 10:54	大会会長のあいさつ、文部大臣ほかの祝辞、地元市長ほかの歓迎のことばがあります。
皇族のおことば	10:58	皇太子殿下ご夫妻が列席され、皇太子殿下より、おことばがある予定です。
選手代表宣誓	11:00	ファンファーレのうちに、選手代表が力強く宣誓します。3,000羽の鳩が放たれます。
若い群馬の歌	11:02	「若い群馬の歌」が合唱されます。
閉 式 通 告	11:06	ファンファーレが鳴りひびき、煙火45発が打ち上げられ、閉式が通告されます。
選手団退場	11:08	万場の拍手と、行進曲の演奏のうちに選手団が退場します。
マス・ゲーム 「伸びゆく群馬」の演技	11:27 11:42	この大会のためにつくられたマス・ゲーム「伸びゆく群馬」の公開演技がはじまります。市内高校生、男子1,000人・女子500人によるもので、群馬のうらわしい自然と、伸びゆく力、清くかたいた友情を表現したものです。グラウンドの緑に映えて美しい色彩と動きをみせてくれます。
皇族ご退場	11:42	
吹奏楽団退場	11:43	
終 了	11:51	煙火が打ち上げられ、万雷の拍手のうちに開会式が終了します。

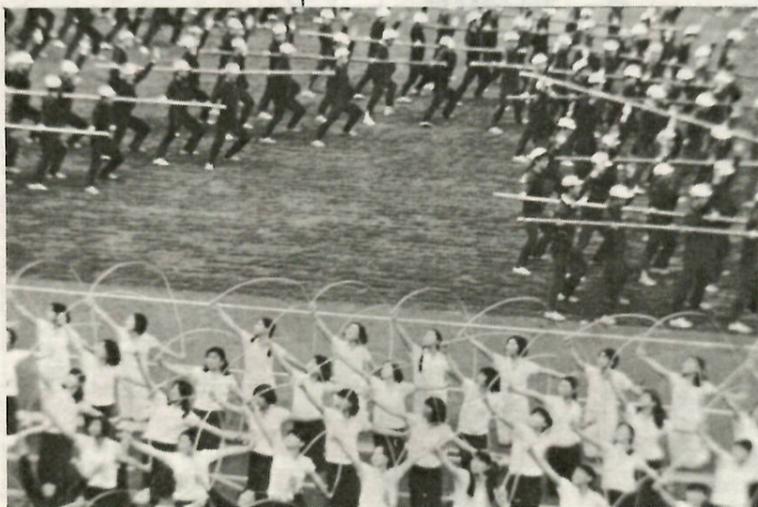
「全国高校総体」のため、本市に宿泊する選手・監督・役員等は、前期の競技(陸上・バレー・自転車)に約五千六百人、後期の競技(水泳)に約千九百人、合わせて七千五百人が予定されています。この参加者の宿泊は、旅館関係者の全面的な協力体制によって、前期の場合、約三千人の受け入れが約束されました。しかし、これだけでは、千六百人の宿泊が不足する見込みです。この不足分は、市内の家庭、そのほか町内にある施設(公民館・お寺・社務所・事業所など)での宿泊をおねがいし、受け入れをお願いします。そこで、町内の「治会を中心として、高校、寺、会、事業所」などの協力をいただき、「民泊」の受け入れが実施されることになりました。選手・監督の

成功のポイント

宿 泊

民宿は2,600人

宿泊については、競技会場から三十分以内で交通便利な地区という基準のもとに、競技会場の地元として南橋・総社・石倉地区と旧市街地が選ばれ、みなさんのご理解により予定をおねがいすることができました。北は北海道から、南は九州・沖縄まで、全国各地から集ってくる高校生たち。この参加選手ひとりひとりは、二年間の高校生活の間、全国大会に出場することは、もう何回もありません。「民泊」を引き受けてくださるみなさんには、ほんとうにたいへんなことでしょうが、見知らぬ土地へ来てベストをつくし競技に励む高校生たちのために、あたたかい家庭の味を、じゅうぶんあじわわせてください。本市が深く心に残るようお願いします。



市内高校生1,500人によるマス・ゲーム「伸びゆく群馬」の演技。5月15日、県営陸上競技場で。

に、陸上競技、体操、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、軟式庭球、ハンドボール、サッカー、バドミントン、ソフトボール、相撲、柔道、ボート、剣道、レスリング、弓道、硬式庭球、登山、自転車、ボクシング、ホッケー、ウエイトリフティング、ヨット、フェンシング(二十五種目)は夏季に行なわれます。すでに、冬季大会のスキー競技は、ことし二月五日から九日まで、水上町において終了しています。

○：夏季大会の二十五種目のうち、群馬県で行なわれるのは十五

「全国高校総体」は、オリンピック東京大会のムードのなかで、大きくふくれあがり、これまで各競技団体ごとの選手権大会を、夏休みの期間、各地で開催してきたものを統一し、第一回大会は昭和38年新潟県を中心に14県の協力で開催されました。

第二回大会(昭和39年度)は愛知県、第三回大会(昭和40年度)は大分県、第四回大会(昭和41年度)は青森県、第五回大会(昭和

上州の山々をあらわし、若者たちの清純な姿と、未来を象徴するものとされています。

○：この群馬大会の開催が決つたのは昭和41年。それから4年、みなさんの理解と協力で、競技会場25、練習会場83の準備も完了、宿泊施設の見直しもつき、開催を待つばかりとなりました。

○：市民ひとりひとりが「ようこそ、前橋へ」の気持で全国の若い人たちを迎え、中心開催市として全国に恥じない立派な意義づかい大会となるよう、ご協力をおねがいいたします。

